

# Shuei walker

～おいしいワッフル シェリココ～

今回は、つくば市大曾根にあるワッフル専門店「菓子工房シェリココ」へ伺いました。工房ということもあって、お店の中はワッフル工場となっていて、ワッフルを作るところから販売するまでの工程をすべてこの工房で行っていました。 島野 まはろ(境一)

工場直売  
ワッフル  
お気軽に  
お入り下さい  
平日9時から  
17時

製造直売  
ベルギーワッフル

株式会社 菓子工房  
**シェリココ**

住所: 〒300-3253  
茨城県つくば市大曾根3379-2  
TEL:029-895-2088  
営業時間: 午前9時～午後17時  
定休日: 土曜日・日曜日

↓①粉の分量を量り、混ぜ合わせます。



↓③160℃の鉄板に生地をのせ、約3分焼いて完成です。



↑②出来た生地を20グラムずつに分割し、1時間弱発酵させます。

工場直売のため、お買い得でしたが、残念ながら**価格は掲載NG**ということでした。直接お店で買うかインターネットで注文する時に確認してください。

代表取締役の清水文貴さん→小麦の味を大切に、全国から取り寄せたこだわりの素材を原料として作っているそうです。



←チョコワッフル  
噛むと最初に柔らかいワッフル生地の風味が口の中に広がり、その後チョコの甘味が絡みます。噛めば噛むほど口の中でワッフルの甘味とチョコの甘味がミックスされて、その美味しさの虜になること間違いなしです。

↓ミルクワッフル  
口に入れた瞬間に、ミルクの優しい甘さが口いっぱいに広がります。生地がしっとりとして、なめらかな舌触りでした。あえて小さいサイズで作っているため、おやつとして食べるのに最適です。



今年の五月一日から施行される元号が「令和」であると発表された。日本の古典作品である『万葉集』が典拠となっており、改元の一か月前に新元号が公表されるなど、歴史上初めてのことが続き、何かと話題になった。

ところで、令和の「令」の字は「令」と「令」どちらを使うのが正しいのだろうか。

実は、この「令」は「令」と「令」の両方を使っても問題はないのである。「令」は「令」の異字体であり、同じ文字である。主に手書きの文字で使われることが多い。また、戦前の初等教育ではできるだけ手書きに近い形の文字を表示する必要があり、この「令」が小学校の教科書に採用された。その名残で、今でも小学校の教科書では「令」の異字体が使われている。

異字体、という耳慣れない言葉に聞こえるが、身近なところでも異字体は使われている。例えば「坂本龍馬」の「龍」は「竜」という文字が普及して「龍」という文字は普及して「竜」という文字を使っていなかったこと。それから「坂本龍馬」とするの一般的な「竜」が「龍」となるのは、小説「竜馬がゆく」では「竜」と「龍」の両方が使われていて、「龍」と「竜」のどちらでも現代では違和感なく使われていることがわかる。

今回の改元を機に、元号の由来や意味以外にも、元号の漢字そのものにも目を向けてみるのはいかがでしょうか。

吉峰 綾香(竹園東)

## 新たなるステージへ ～第25回入学式～

4月6日(土)入学式が執り行われました。当日は晴天に恵まれ、桜も満開でした。今年度からリニューアルされた制服に身を包み、25期生の生徒たちは緊張した面持ちで式に臨んでいました。これからの3年間を、一生の思い出に残るような高校生活にしましょう!



## 日本の入学式は4月だけど... 秀輝祭テーマ決定!!

日本では入学式は4月に執り行われるのが通例ですが、外国はそうではないようです。日本のように4月に入学式を行う国はほぼ無く、世界的には9月が標準のようです。

また、アメリカのように卒業式は家族総出でお祭り騒ぎで祝う一方、入学式は新入生への簡単な説明で済ませるといような国が多いです。フランスに至っては入学式も卒業式も行われなそうです。

中山友貴(石下)

今回のテーマは、『彩り豊かで美しく立派な学園祭にしたい』という思いが込められています。ぜひ、みなさんと豪華な秀輝祭を作り上げましょう!

現在、有志発表を希望する生徒を募集しています。興味のある方は、第2職員室大久保雄二先生のところまで来て下さい。たくさんの参加をお待ちしています。

離任・新任の先生方紹介

新任の先生方  
箱守 真奈美先生(英語)  
阿部 美歩先生(国語)  
照井 美穂先生(家庭)  
橋場 保先生(数学)  
酒井 雅子先生(地歴)

## 新入生との初対面! 新入生歓迎会

4月12日(金)の午後に入新生歓迎会・部活動紹介が行われました。新入生が2,3年生と対面する、全校生徒で行われた今年度初の行事です。

新入生歓迎会では、先生方の紹介、生徒会活動について、学園祭のテーマ発表などが行われました。

歓迎会終了後には、部・同好会の活動紹介が行われ、映像を使った紹介や普段の練習の様子が紹介され、どの部・同好会も工夫を凝らした紹介となりました。

これからの学校生活がより充実したものになるよう、ぜひ部活動・同好会に入部しましょう。

須藤 佑奈(大穂)

# 秀花新聞

生徒会新聞  
Vol. 1  
H31.4.20  
つくば秀英高等学校  
生徒会発行

生徒会発行  
"秀花新聞"  
全国高等学校総文祭  
新聞の部6年連続出場

新聞記事の  
ネタ募集!  
新聞ボランティア  
募集中!

INDEX

1面  
・新たなるステージへ  
～第25回入学式～  
・～彩色縞美(さいしょくけんび)～  
・秀輝祭テーマ決定!!  
・離任・新任の先生方  
紹介  
・新入生との初対面!  
2面  
・全国での挑戦を終えて  
柔道部 全国選手権結果  
・少林寺拳法部  
全国選抜大会結果  
・地域おこし隊となって  
3面  
・日本国内で海外体験  
～TGG「東京英語村」～  
・THE・Research  
なんで令和に変わったの?  
4面  
・Shuei Walker  
～おいしいワッフル  
シェリココ～  
・編集者のコラム

※記事内の( )は(出身中学校)になります。



# 全国での挑戦を終えて 柔道部 全国選手権結果

3月20日(水)~21日(木)にかけて、日本武道館で全国高校柔道選手権が行われました。団体戦では1回戦、大阪の近大附属高校に勝利、2回戦では青森県の青森北高校に勝利し、全国ベスト16に進出しました。

個人戦では古矢桃子(大穂)が惜しくも1回戦敗退でしたが、旭征哉(下根)が健闘し、3位に入賞しました。

今回は、主将と個人戦に出場した選手たちに大会の感想と次の大会への意気込みを聞きました。

鈴木 菜湖(大穂)・柴森 佑香(水海道)



大会会場での集合写真

3年8組 小林 照海(堀船)

ベスト16だったが、あと1つ勝ち上がりがかったです。

全国の悔しさは全国でしか返せないの、まずは県を勝ち上がり、再び全国の舞台に立ちたいです。



3年8組 古矢桃子(大穂)  
1回戦は勝ち上がったです。次の県大会では優勝して全国に出場して入賞したいです。

## 少林寺拳法部 全国選抜大会結果

3月23日(土)~25日(月)に全国高等学校少林寺拳法選抜大会が香川県の善通寺市民体育館にて行われました。本校の少林寺拳法部の中泉蓮(牛久三)が男子自由単独演武の部に出場しました。



会場にてポーズを決める中泉選手

2年7組 中泉 蓮(牛久三)  
予選で惜しくも敗退してしまいました。全国のレベルの高さを改めて痛感した大会でした。

次は県大会で優勝し、また全国の舞台へ行きたいです！  
応援よろしくお願いします。

3年8組 旭征哉(下根)

あと、チャンスはインターハイしかないの必ず日本一になれるように頑張ります。団体戦でも、活躍できるように頑張ります。



果敢に攻める旭選手(写真左)



## 藤井川ダム諸元

藤井川ダムは昭和31年に建設され、最初は防災用のダムとして利用されていましたが、昭和52年に多目的ダムとして灌漑用水の供給や城里町と水戸市の水道用水を供給する水がめ役を担っています。



←藤井川ダムの堤体の内部に入ることができました。堤体の内部の階段は、とても急で手すりを掴みながら進まないと、危険でした。階段は約20mあります。ダムの内部を点検するために職員の方は、この階段を何度も往復して調査しています。

## 地域おこし隊となって 全国総文に向けて茨城県城里町を取材

3月15日(金)に、茨城県高等学校交流新聞作成会が実施され、私たち新聞同好会は、8月の全国総文に出場予定の岩瀬日大・古河中等と合同で新聞を作りました。

取材先は、日本で一番知名度の低い町、城里町にある藤井川ダムと健康増進施設「ホールの湯」でした。



今回参加した3校合同で集合写真を撮りました。(古河中等・岩瀬日大・つくば秀英)

初めての新聞交流会は、大変なことばかりでしたが、各チーム素晴らしい新聞を作成することができ、8月の全国総文のためのよい機会となりました。書き終えて、時間通りに仕上げる難しさを実感し、多くの事を学びました。この体験を今後の新聞作りに生かしたいです。

大里 寧音(関城)

# 日本国内で外国体験 ~TGG「東京英語村」~

3月24日(日)に1,2年生の希望する生徒対象にTGG東京グローバルゲートウェイへの国内語学研修が行われました。

午前中は、エアポートゾーンでの研修、「スーベニアショップ」「レストラン」「エアブレイン」での体験とマーケティングのプレゼンテーションを行いました。

午後は、トラベルゾーンでの研修、「ファーマシー」「ファストフード」「トラベルエージェンシー」での体験型英会話を学びました。

最後は、Ecological Responsibilityについて、英語での講義を聞き、最後に発表まで行いました。参加した生徒のみなさんは、英語漬けの一日を過ごし、充実した表情をしていました。

今回参加した生徒の感想を一部掲載します。  
忍田 悠輔(猿島)



3年1組 倉持 若葉(小川南)

1日の活動を通して、海外旅行に行っているような感覚の中で英語でさまざまな体験をしました。

なかでも、マーケティングや環境問題について討論する場面では、日本語で難しい事柄について、エージェントの方の力を借りながらグループ全員で英語で意見交換を行うなど、普段は行うことのできない経験をする事ができました。難しいこともありましたが、楽しく活動したことで、英語への苦手意識を改善することができ、良い経験になりました。

3年1組 小野 晴香(豊里)

「東京英語村」では、実際に外国に行った際に役に立つ、レストランやエアラインなどの場面に対応した部屋で授業が行われました。また、先生は全員が外国人なので本当に外国に行っているような気持ちになりました。他にも、経営や世界全体で取り組まなければいけない「SDGs」と呼ばれる17の目標についても学ぶことができ、とても良い経験になりました。



東京英語村での集合写真

3年3組 古谷 奈々美(水海道西)

私は、TGGでの研修に参加して、とても貴重な体験をすることができました。さまざまな国の方々がいる中、英語でコミュニケーションを取ることで色々な知識を身に付けることができたと思います。体験したことで一番心に残ったのは、アトラクションエリアでのミッションカードを用いた体験です。日本語が通じない分、英語で伝える努力ができたのでとても楽しかったです。



「レストラン」での研修

# THE・Research なんで令和に変わったの？

## 大正 昭和 平成 令和

天皇の退位に伴い、元号が平成から令和に改元されました。天皇の退位に伴う改元は憲政史上初めてで、新天皇の即位前に新元号を決定し、公表したのも歴史上初だそうです。

今回は元号の起源や改元について調べてみました。  
吉峰綾香(竹園東)

現在、元号は一世一元で、天皇1代につき元号は一つと定められていますが、この制度が定められたのは明治22年に旧皇室典範で定められて以降であり、かつては天皇が変わらずとも改元が行われることがありました。

例えば奈良時代の元正天皇の時代には、左京職より瑞亀という珍しい亀が献上されたことを吉兆とし、元号を「和銅」から「霊亀」に改元したそうです。他にも白亀が献上され、めでたいからという理由で「神亀」、背に『天王貴平知百年』と文のある亀が献上されたという理由で「天平」、肥後国から白亀が献上されたことを吉兆とし「宝亀」と、奈良時代の間だけで亀を理由に4回も改元が行われています。

また、亀以外にも、雲が理由の改元も数回ある。亀や雲をありがたがるのは中国からの影響で、これらは瑞祥といわれ、めでたいものだったそうです。

元号の始まりは、中国の漢の時代の武帝(ぶてい)が、即位の翌年を「建元(けんげん)元年」としたものであると、『漢書』に書かれています。また、武帝は在位中の54年間で11回も改元したという記録があります。改元の理由としては、天変地異や政局を転換したいときであったと考えられます。このように改元することで時代を自由に操ることが皇帝の特権だったようです。

日本では、朝貢外交で中国に遣いを送っていた関係上、中国の元号を使わざるを得ませんでした。例として、卑弥呼の時代の邪馬台国で魏の年号を使った記録が残っています。

日本以外の朝貢国も基本的に中国の元号を使っていた。しかし、例外的に日本の聖徳太子とそのグループは朝貢外交を快く思っておらず、できるだけ対等を装うようにしていました。表向きは中国に仕えているように振る舞いつつも、実際にそうはせず、奈良時代からは独自の元号を使うようになっていきました。他の朝貢国は中国からの圧力もあり、独自の元号を使うことは少なかったそうです。それに対して日本は、中国と海を隔てていることもあり、多少反感を買っても襲われにくいと考え、独自の元号を使い続けました。